

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部		高等部 普通科	学年	1・2・3年	学習グループ	紙工班	教科等名	作業学習
年間授業時数		1年315時間 2年329時間 3年374時間	使用教室	紙工室			使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員		月曜日	2～6校時	MT	川崎 剛	ST	菅原郁洋、山本 裕史、新村和歌子、根来 悠子、 、蓮沼 淳子、藤澤 由佳、柴原郁美、	
		木曜日	2～4校時	MT	川崎 剛	ST	菅原郁洋、山本 裕史、新村和歌子、根来 悠子、 、蓮沼 淳子、藤澤 由佳、柴原郁美、	
ねらい	(1)	物を作る喜びや、製品の有用性を知る。						
	(2)	見通しをもち、意欲的に取り組む。						
	(3)	手指の巧緻性を高め、集中力、持続力を養う。						
学期	単元名	指導月	指導時数	主な学習	ねらい	手だて		
1 学期	・製作工程を覚えよう	4	1年19時間 2年19時間 3年23時間	作業工程の確認 紙すき	○安全な作業と道具類の取り扱い方、安全に作業を行う上で大切なルールや道具類の扱い方などを知る。	・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作するよう促す。 ・グループ内での動線を整理し、室内の道具を使いやすく配置する。		
	・製作工程を覚えよう	5	1年33時間 2年37時間 3年26時間	作業工程の確認 パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）	○安全な作業と道具類の取り扱い方、安全に作業を行う上で大切なルールや道具類の扱い方などを知る。 ○各作業工程について知る。 製作手順を意識し、正しく道具を使用する。 ○自分に合った作業工程を知る。製作方法でのグループ分けに向けて、適性を知る。	・見本や手順書を用いて、決められた段階を踏みながら製作するよう促す。 ・グループ内での動線を整理し、室内の道具を使いやすく配置する。 ・同じ工程を繰り返し、決められた段階を覚えられるように課題設定をする。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。		
	・製作工程を覚えよう	6	1年32時間 2年57時間 3年64時間					
	・販売製品を作ろう	7	1年19時間 2年19時間 3年37時間	作業工程の確認 パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）	○紙漉き、パルプ作り、解体、製品の各グループで作業をする。道具の扱いや準備などの基本的な技術を習得する。 ○作業工程を覚える 繰り返し製作し、作業に慣れる。 ○ルールや手順を守る。 正しく道具を扱う。 決められた製作手順を守る。 ○名刺の受注生産を行う。 受注製品を作り、紙の製品化を行う。	・工程ごとに教員がチェックし、ひとつひとつの工程を丁寧に製作するよう促す。 ・指示する内容を整理してシンプルにし、理解しやすくなるよう配慮する。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。		
2 学期	・販売製品を作ろう	9	1年22時間 2年24時間 3年24時間					
	・販売製品を作ろう	10	1年30時間 2年27時間 3年78時間					
	・文化祭の準備をしよう	11	1年44時間 2年75時間 3年27時間	パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺） 封入	○お店作りをする。 販売に必要な掲示物を作る。 ○文化祭、喫茶スペースで販売する製品を作る。 丁寧に作業することを意識し、製品数を確保する。 ○2学期のまとめ・片付け作業等 2学期の作業を振り返り、3学期への意欲を高める。	・何が販売に必要な掲示物が考えるよう促す。 ・段階ごとに教員がチェックし、ひとつひとつの工程を丁寧に製作するよう促す。 ・頑張ったことをみんなで確認し評価して意欲を高める。		
	・文化祭の準備をしよう	12	1年43時間 2年29時間 3年31時間					
3 学期	・販売の練習をしよう	1	1年19時間 2年23時間 3年19時間	・お店作り ・接客練習	○接客の仕方を学ぶ。 相手に聞き取りやすい声で話す。 身だしなみを整える。 製品の金額を覚える。	・教員が手本を示し、視覚的に分かりやすく説明する。 ・店員役と客役に分かれ、模擬販売を行うことで、販売の流れに見通しをもてるようにする。		
	・文化祭のまとめをしよう ・新製品を考えよう ・製品作り	2	1年25時間 2年25時間 3年25時間	パルプ作り 解体 紙漉き 製品作り 受注品（名刺）	○文化祭での販売の様子を振り返る。 ○お客さんのニーズを考える。 ○新製品に取り組む。 新製品の案を考え、試作品を作る。 ○片付け・1年間のまとめ	・文化祭で頑張ったことをお互いに評価し合い、今後への意欲を高める。 ・生徒の意見も取り入れ、量産が可能な製品を試作する。 ・1年を経て、年度当初よりもステップアップした作業を行えるよう、各自の仕事内容を見直す。 ・今年度頑張ったことをお互いに評価し合い、次年度への意欲を高める。		
	・新製品を考えよう ・製品作り ・1年間のまとめ	3	1年26時間 2年26時間 3年22時間					
通年	・学年作業 ・校内実習	通年		・教室整備、清掃作業等 ・軽作業等	・協力して清掃作業や教室整備を行う。 ・マナーやルールを理解して作業する。	・手本を示したり、手順を一定にして分かりやすく作業を進める。 ・視覚教材を用意する。		